

平成31・令和元年度終了!

さつきやま魂

崎山中学校だより
3月24日 第21号
文責 校長 山下



今年度一年間、

御支援・御協力ありがとうございました

本日、平成31・令和元年度の修了式を行い、1・2年生全員に修了証を渡しました。新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、3月4日から臨時休業となり心配されましたが、全員出席のもと、無事に修了式を行うことができました。本日より、臨時休業中、子どもたちの学習状況や体調等、御心配だったことと思います。職員からの家庭訪問や電話連絡等にも丁寧に対応していただきありがとうございます。

さて、今日の修了式では、「この一年で成長した自分を自覚し、自分を褒めてほしい。」ということを伝えました。親子で、通知表を見ながら話題にしていただけだったと思います。

また、私の教員としての経験から、「3月から4月にかけてのわずか月間の間に生徒は大きく成長する。」という話をしました。その要因は何か。私は、その人の心構えや気持ちの変化だろうと考えます。学年末という節目は、進学や進級に対する心構えをつくる大切な時期です。その心構えがしっかりとできた人は、進学や進級をきっかけに大きく成長します。この一年間あるいは二年間で身に付けてきた「さつきやま魂」の誇りを持ち、4月から始まる新しい生活に向けた心構えを育ててほしいと思います。きっと、さらに成長する自分が見られることでしょう。

さつきやま魂 (めざす生徒像)

先人から脈々と伝わる

- 一 自主
 - 一 友愛
 - 一 錬磨
 - 一 勤労
- 校訓
- ・ ① 進んで挨拶し、行動する魂
 - ・ ② ふるさと、人を愛する魂
 - ・ ③ 粘り強く、あきらめない魂
 - ・ ④ 奉仕の心で働き抜く魂
- 古き良き伝統を守り続けます

卒業証書授与式から

3月17日、第16回(第73回)卒業証書授与式が挙行されました。卒業生一人ひとりに卒業証書を手渡すことができた、本当に嬉しく思いました。

当日は、在校生代表の入江柚月さんが、先輩方との別れを惜しみ、途中感極まるなど、心にしみる送辞を行いました。また、卒業生代表の入江義之君は、中学校生活を振り返りながら、地域や保護者、先生、後輩、そして仲間への感謝の思いを一生懸命伝えるなど、すばらしい答辞を行いました。さらに、卒業生が作詞した「卒業たびだちの日」の合唱など、一生の思い出に残る感動的な卒業式となりました。

式後に行われた最後の学活では、一人ひとりのスピーチがあり、「崎山中でよかった。このクラスでよかった。」という声をたくさん聞くことができました。保護者の皆様はもちろん、関係する全ての皆様に感謝申し上げます。



春休みの部活動について

別紙でもお知らせしましたが、臨時休業が3月24日で終了し、25日から通常の春休みとなります。これに伴い、部活動も再開します。ただし、別紙のような新型コロナウイルス感染症拡大防止のための対策を講じての実施となります。保護者の皆様には、朝の検温等の御協力をよろしく願います。

お世話になりました

令和2年度の教職員人事異動が発令され、崎山中学校からは6名の先生方が退職・転出することになりました。

在勤中は、崎中の子どもたちの成長を願い、一生懸命に指導・支援していただきました。ありがとうございました。転出される先生方です。

佐々木寿人先生(4年勤務)

退職 再任用で三井楽中へ

藤尾和朗先生(1年勤務)

教頭として翁頭中へ

吉武未来先生(3年勤務)

長与町立長与第二中へ

水戸雅人先生(3年勤務)

長与町立高田中へ

坂下麻衣先生(6年勤務)

本山小へ

野原勇良さん(3年勤務)

緑丘小へ

【春休みの思い出】

春休みと言えば、「別れと出会い」というイメージがある。今年も6名の先生方とお別れすることになった。別れは寂しいものだが、必ず出会いがある。転出される先生方も、それぞれの新しい勤務校での出会いが待っている。「一期一会」ということばがあるが、これから人との出会いを大切にしていきたいと考えさせられる季節だ。転出される先生方の御健康と御多幸を心から祈る。